

文星芸大附

now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話 (028)
636-8000 (中学直通)
636-8585 (高校直通)
発行
「文星芸大附 now!」
編集係

明るい希望

— 卒業生へ贈る言葉 —

学校法人 宇都宮学園 理事長 上野孝子



温かい心を育てる

戦争が終わって、平和になり、戦争を知らなかった日本人が日本を支える時代になった。平和という言葉はありがたい。しかし、平和である反面、間違った人々が、沢山増えた。人を殺すという大罪を犯す、親を殺す、兄弟を殺す、幼い子供を殺す。人間として、しては

ならない事をする。

いじめがある。大人の間にも、子供の間にも、いじめがある。なぜ日本人は、常識的な平和を求めないのだろう。誰もが温かい心をもっている。しかし、その温かい心を閉ざしてしまった人達が増えてきているのはなぜだろう。私は、その平和な心を育てるため、温かい心を育てるために教育があるのだと思う。

母親の愛情

戦争中、青年達が沢山戦死した。戦死した時、

彼らは何と叫んだと思うか。その当時の記録によれば、「天皇陛下万歳」と叫んで死んだとあるが、私は違うと思う。私は「お母さん」と叫んで死んだのだと思う。私の兄弟も、三人戦死した。きっと「お母さんに会いたい」と思って戦死したのではないかと思う。

お母さんの愛、お母さんの温かさ、それは人間にとって、一番大切な、生きる為の絆である。私もここまで生きて来た中で、いつも両親のことを想っていた。「親に心配をかけまい」、「お母さんに

「文星芸大附 now!」は、平成十七年四月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

喜んでもらいたい。親の生きている間は、親孝行するのが何よりの楽しみであった。そして、親の温かい心を沢山いただいた。「人に親切にしない」、「周りの人の為に尽くさない」、「どの人にも平等につき合いなさい」。私は、知らず知らずのうちに親から教育されてきたのだ。とくに、私の子供の頃は、家庭は7人兄弟で、スポーツ一家であった。家中でテニスをしたり、卓球をしたり、スケートをしたり、その楽しい生活は、戦争前の生活であった。

戦争に負け、平和になった。しかし、平和になり苦労した中で、学んだ事は、物が豊富になっても、一番大切なのは心だということ。温かい心、

人間愛、それが自分を作っていくのだ。物質に囲まれた中で、自分を見失ってはいけないと心に誓ったのである。

生徒の皆へ

我が文星芸術大学附属高等学校、文星芸術大学附属中学校の青少年の皆様は、大きな志をもって、世界に羽ばたいて行こう。熱い情熱とたゆまぬ努力で、明るい人生を築いていこう。

ここに、文星の生徒の皆様がこの日本に、そして世界に羽ばたいて行く前途に、心から祝福を贈りたい。

中学校行事予定

▽二月

26日(月) 立志式(二年生)

▽三月

5日(月) 7日(水) 学年末考査

10日(土) 実用数学技能検定試験

23日(金) 第一・二学年修業式

24日(土) 4月8日(日)

春季特別活動期間

24日(土) 新入生オリエンテーション

▽四月

4日(水) 新二・三年生登校日

5日(木) 入学式

9日(月) 第一学期始業式(対面式)

高校行事予定

▽二月

28日(水) 第三学年修業式

▽三月

1日(木) 卒業証書授与式

2日(金) 7日(水) 進級試験

8日(木) 9日(金) 進級試験追試

12日(月) 身体計測・個人写真撮影

13日(火) 22日(水) 臨時休校

16日(金) 第一回新入生

オリエンテーション

24日(土) 第二回新入生

オリエンテーション

23日(金) 第一・二学年修業式

24日(土) 4月8日(日)

春季特別活動期間

26日(月) 在校生登校日(教科書購入)

▽四月

4日(水) 在校生登校日

5日(木) 入学式

9日(月) 第一学期始業式(対面式)

- 1ページ「明るい希望」
- 2・3ページ「卒業生特集」
- 4ページ「部活動状況」
- 5ページ「修学旅行他」
- 6ページ「文星キッズの3学期」
- 7ページ「文星ふぉとギャラリー」
- 8ページ「1年間の思い出」

卒業生へのメッセージ

「最後まで諦めない」

副校長 綱川 忠司

卒業おめでとうございま

す。保護者の皆様方にとって、思いはそれぞれに異なることと思いますが、「這えば立て、立てば歩めの親心」という言葉が示す通り、常に子供の成長を一番に待ち望まれてきたことと思います。つい先日入学式を迎えたと思っていれば、もう立ちの時を迎えることとなりました。これから社会の荒波に向けて船を漕ぎ出すとする我が子の勇姿を見ると、とても感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

卒業していく諸君にとって、高校での三年間は自分探しの場であり、目標実現

のための準備期間でもあったわけですが、今改めて振り返ってみるといかがでしたか。

卒業していく諸君にとって

では、産業構造の変化や科学技術の高度化、世界的規模で進展する情報化の波など、目まぐるしい社会の変化にどのようにして対応していくべきか大きな課題があります。これからは、高校生活と全く異なる環境の中で生活していくわけですから、自ら社会構造の変化を的確に捉え、問題点を見出し分析する知的創造力や判断力等が要求されてきます。また、それぞれの場で高度情報通信社会の情報資源を取捨選択し有効に活用すること、更には、国際社会の中で活躍していくための語学力も要求されること

副校長と第三学年主任から卒業生にむけて贈る言葉を頂きました。また、第三学年担当職員を紹介します。

と思います。

こうした変化の激しい社会だけに、常に学ぶ姿勢を持ち、周囲の状況に流されることなく、他人と協調し他人からも認められる心を持って、社会で活躍できる強い人間になってくれることを期待しています。

最後に、甲子園の一回戦における本校生の活躍は、誰の目にも焼きついていてのことと思います。最後まで諦めない戦いぶりは、私達に感動を与えてくれただけでなく、卒業生諸君が、社会の荒波の中で苦しい状況に追い込まれた時には、あの場面を思い出して必ずやり抜いてほしいものです。



「新たなスタート」

第三学年主任 山口 和正

三年生諸君、卒業おめでとうございます。平成十六

年四月に始まった高校生活、長いようで短かったのではないのでしょうか。本校に入学してからの、眠ピクニック・校内体育大会・雄飛祭・修学旅行等の学校行事も、忘れることのできない楽しい思い出であろうと思います。また、甲子園出場においては、諸君達がひとつにまとまり応援し、関西戦の逆転劇は特に感動的で今でもあの時の様子が甦ってくることでしょう。最後まであきらめない姿勢がああ結果を生み出したと思います。これらの経験は諸君にとってかけがえのない財産です。

さて、諸君はこの三年間で本校の教育方針である

「三敬精神」並びに「ライオン主義」を体得実践してきたと感じております。自分を大切にしろ、それと同じぐらい他人を大切にしろ。

思いやりのある人であれ。事にあたるときは力を抜くな、全力でやれ。そんな人間になって欲しいと思います。日々諸君と接してきたつもりです。このことは今後の生活においても忘れずに生きて欲しいと願います。

卒業はゴールと思われがちですが、新たなスタートでもあります。諸君はまだまだ色々な可能性を持っています。これからは、進学者、就職する者、それぞれの道を進んでいくことになると思いますが、スタートするにあたり、目標を持ち、意識を変えていくことが自分を高めることになると思います。諸君の活躍を心から願っております。

第三学年担当職員

学年総務	柏倉 功	英進科	1組	雪野 賢
学年主任	山口 和正	2組	菊地 幸子	
生徒指導主任	渡辺 誠	3組	佐藤 史徳	
学年付	湊谷 浩司	4組	岩泉 徳栄	
	石井 隆嗣	(副)	稲澤 雅夫	
		普通科	1組	中根 雅之
		2組	飯島 芳美	
		(副)	渡辺 誠	
		3組	荒川 喜昭	
		4組	木村 雄太	
		5組	野口 秀敏	
		6組	富永 一己	
		7組	加藤 総明	
総合ビジネス科		1組	尾田 大輔	
2組	阿部 克美			
3組	岩泉 徳栄			
(副)	稲澤 雅夫			
4組	鈴木 幸夫			

輝け!!文星健児

部活動紹介

剣道部

県新人大会初制覇
文星剣士全国へ

一月二十八日(日)に行われた平成18年度県高校新人剣道大会兼全国選抜大会予選(栃木県体育館)にて、本校剣道部が姉妹校である宇都宮文星女子高校とともにアベック優勝という快挙を果たした。

本校剣道部は決勝で小山高校と対戦。先鋒の大野偉生選手(普通科二年)が二本勝ちを収めた。その後、大将戦まで接戦が続くも気魄の攻めで四人とも引き分けに持ち込み、見事大会初優勝を飾った。

なお、両剣道部は三月に愛知県春日井市で開催され



る第16回全国高等学校剣道選抜大会への出場権を獲得し、全国の大舞台での更なる活躍が期待される。

軟式野球部

県新人16年ぶり頂点

県高校軟式野球新人大会が十月十四日(土)、十六日(月)県営球場にて行われ、決勝で本校軟式野球部が作新学院を下し、16年ぶりの優勝を果たした。また同時に第47回秋季関東高校軟式野球大会への出場権を獲得した。

決勝戦、一点を追う本校軟式野球部は六回に主将の吉田淳起選手(普通科二年)のタイムリー二塁打などで逆転に成功。投げては公式戦初先発となる中三川拓成投手(普通科二年)が完投。作新打線を抑えて、見事優勝を勝ち取った。

チーム一丸となって勝利を収めた軟式野球部の栄誉を称えたい。

作新 00001000000
文星 0000020000x2 1

《関東大会結果》

十一月十一日(土)

2回戦(シード)

本校 1-3 桐生(群馬)

陸上競技部

新チーム結成後活躍を続ける各クラブ。その主な活動状況を報告します。

ハンマー投げ

弓田選手関東を制す

十月二十八日(土)に行われた第10回関東高校選抜新人陸上競技選手権大会(千葉県総合スポーツセンター)において、男子ハンマー投げで弓田倫也選手(普通科二年)が優勝した。

十月十五日(土)の第46回県高校陸上競技新人大会では円盤投げ、ハンマー投げの2種目を制覇し、万全の体制で関東大会に臨んだ弓田選手。気魄の投擲で自己ベストを大きく上回る62メートル82の大記録を打ち出した。

《県高校陸上新人大会》

◆弓田 倫也(二年)

【ハンマー投げ】60.82(優勝)

◆円盤投げ 45.59(優勝)

◆古渡 亮太(一年)

【砲丸投げ】13.15(優勝)

大会新記録

《関東高校選抜新人大会》

◆弓田 倫也(二年)

【ハンマー投げ】62.82(優勝)

【円盤投げ】44.84(6位)

卓球部

関東大会上位入賞

全国の舞台へ

十二月二十四日(日)、二十五日(月)に全国選抜大会関東予選会が鹿沼市総合運動公園フォレストアリーナにて行われ、本校卓球部が出場した。

十一月に行われた県内予選を総合2位で突破し出場を決めた今大会。三月二十六(月)日から二十八日(水)に石川県金沢市で行われる第34回全国高等学校選抜卓球大会への出場権(上位10校)をかけて関東の強豪20校が覇を競い合った。

本校卓球部は予選リーグ四試合を2勝2敗で終え、惜しくも8強入を逃すも、3位リーグで2勝1敗とし、総合10位で全国に駒を進めた。全国大会という大舞台で持てる力を存分に発揮し、文星の名を全国に轟かせてほしい。

バスケットボール部

関東新人大会進出

第62回県新人大会兼関東高校新人大会県予選会が一

芸術の祭典

第8回文星ジョイントコンサート開催

月に県内各会場で開催され、二十一日(日)に決勝リーグ最終戦などが栃木市営体育館にて行われた。

本校バスケットボール部はトーナメントを順調に勝ち進み、決勝リーグにおいて宇都宮短大附属と作新学院を破った。

そして全勝で迎えた最終戦、迎え撃つのは昨年の覇者宇都宮工業。中盤、宇工を追い詰めるも力及ばず、惜しくも準優勝となるものの、二月に茨城県ひたちなか市で開催される第17回関東高等学校バスケットボール新人大会の出場権を獲得した。

《決勝リーグ最終戦》

本校 64	15	13	21	15
	12	27	22	19
	80 宇工 高			

《関東大会結果》一回戦
本校 64-111 土浦日大(茨城)

○その他の主な大会結果

▽柔道部

第29回全国高校柔道選手権大会県大会 団体4位

▽駅伝部

県高校男子駅伝競走大会 県大会5位
(第59回関東高校駅伝競走大会出場)



今年で8回目を迎える文星ジョイントコンサートが一月二十日(土)、栃木県教育会館で行われた。これまで各運動部の応援やコンクールなどで活躍している本校および女子校両校の音楽部の面々。彼らの生演奏を楽しめる、数少ない機会がこのジョイントコンサートだ。おなじみの野球応援メドレーはもちろん、コンクール曲『虹色の海』や『オペラ座の怪人』など力強く優雅な演奏を堪能することができた。

また、友情出演として本校和太鼓部、女子校から新体操部、バントワリ部、合唱部が参加し、コンサートに花を添えた。練習を重ねた演目が披露される度、観客席から惜しみない拍手が送られた。

今回の公演も平成十九年の年明けを飾るにふさわしい盛り上がりを見せ、その幕を閉じた。

平成十八年度修学旅行

～沖縄・ケアンズ～

国内班 沖縄

海外班 ケアンズ

(オーストラリア)

十二月一日(金)

～十二月五日(火)

今年度も、昨年同様、国内、海外に別れ、修学旅行が実施されました。

沖縄班は、国内最大級の水族館である美ら海水族館、首里城、守礼門といった歴史的建造物。そしてひめゆりの塔などの戦争の跡を見学。あらためて、日本の素晴らしさを再確認しました。



海外班は、大半の生徒が初めての海外旅行というこ

とで、見るもの全てが新鮮な驚きと感動を与えてくれ、生涯忘れることのない体験となりました。世界遺産でもあるグレートバリアリーフや、世界最古の熱帯雨林などの異文化に触れ、それぞれが、見聞を広めることができました。



第四回雄飛祭

～軌跡～

平成十八年度

第四回雄飛祭「軌跡」

十月二十一日(土)

～二十三日(日)

今年で四回目を迎えた雄飛祭。中学校も二クラス増え、益々盛大に举行されました。

初日には、今年の夏の高校野球栃木大会において「ファンキーモンキーベイビーズ」のライブが行われ、生徒たちも大いに盛り上がりました。



一般公開日は、天候にも恵まれ、多くの方々に来校いただきました。

PTAの方々にも、多大なご協力を頂き、誠にありがとうございました。



体育大会(秀文杯)

十一月八日(水)

春の新生入歓迎校内体育大会に引き続き、スポーツの秋にふさわしい秋晴れの日に、体育大会が行われました。

種目は、サッカーとバレーボール。春の雪辱を果たすべく、全校生徒クラス一丸となって、熱戦が繰り広げられました。

《総合順位》

一年 優勝

普通科 一七

二年 優勝

普通科 二一一

三年 優勝

英進科 三一二



《サッカー》

一年 優勝

普通科 一一一



二年 優勝

普通科 二一一

三年 優勝

普通科 三三三



《バレーボール》

一年 優勝

普通科 一七

二年 優勝

普通科 二一一

三年 優勝

英進科 三三三

文星キッズの3学期

(文星芸術大学附属中学校)

年頭所感

2年1組

勝城 和人

- 一、予習復習を必ずやる。
- 一、自分から進んで学習に取り組む。
- 一、その日にやることはその日のうちにやる。
- 一、規則正しい生活を送る。
- 一、休日は計画表通りに学習をする。
- 一、テストでの目標点数を決め、その点数に近づけるように努力する。
- 一、健康に気をつけ学校を休まないようにする。
- 一、積極的にボランティア活動に参加する。
- 一、自分の苦手な教科に進んで取り組む。
- 一、基本に戻りきちんと挨拶をする。
- 一、常に他の人に感謝する気持ちをお忘れな。

一、目標とされる人間になる。

1年2組

福山 尚人

僕の今年の目標は中間、期末テストで450点以上取ることです。なぜかという、今までのテストではどうしても340点台で、大きく点数を伸ばしたいからです。

二つ目の目標は部活動のテニスで県大会へ行くことです。まだあまり知られていない文星のテニス部を他の中学校にもっと知ってもらいたいし、強いと言われたいからです。

最後の目標は、英検や漢検、数検を全て取得することです。合格して将来の役に立たせたいからです。全ての試験で合格できるように努力したいです。

今年はこの三つの目標を達成できるよう頑張りたいです。



2年1組

清水 慎之介

一月十日から十二日まで宿泊した、リステル猪苗代スキー場でスキー教室がありました。僕は心に残った思い出が二つあります。

一つ目は、第一リフトに乗った時に、右側にあった木々がとてもきれいなことでした。なぜなら、木の枝に降った雪が積もり、木全体の色が銀色に輝いて普段では見ることでできない美しい光景を目にすることができたからです。

新たな年を迎え二カ月が経過しました。生徒はどのような目標をもって平成十九年に臨むのでしょうか。また、年明け最初に行われた行事も紹介します。

二つ目は、第二リフトに乗って中級と上級のコースがあるゲレンデに行った時のことです。最初はとても怖いという気持ちが大きかったです。しかし、二回、三回と繰り返し滑っているうちに怖いという気持ちが、おもしろいという気持ちや楽しい気持ちに変わりました。

今回のスキー教室は昨年よりもとても楽しく、良い経験ができました。

1年1組

押久保 賢一

初日は二年ぶりに滑ったからうまくいきませんでした。スキーはこんなに難しいものなのかと思ったほどです。二日目の講習でうまくいくか少し心配でした。二日目の講習が始まると心臓がうなり始めました。

ドキドキしながら滑っていると、初日とは比べられないくらい上達していました。スキーをする感覚が戻ったのです。僕は心の中で飛び上がりたほど嬉しかったです。ここで気を抜いたらまた滑れなくなってしまうと思います、たくさん滑りました。

三日目の講習では、インストラクターの先生と一緒に上級者コースを滑りました。何度も転んでしまったけれど、いいチャレンジになったと思います。

僕は三日間の講習でたくさんのおもしろさを十分に味わうことができました。この講習で経験したことを生かし、スキーを自分の趣味にしていきたいです。



『校長先生講話』

中学生は、風呂敷の名前は知っていても、実際に使ったことは無いのではないのでしょうか。

現在では風呂敷を使う機会はありませんが、どんな形のものでも自由自在に包み込むことができ、小さく折りたたんでしまいうことが出来る優れたもので、日本文化を代表するものといってもいいでしょう。この素晴らしい機能を持つ風呂敷についてもっと知ってもらいたい、という校長先生の御配慮から、今回の講話の実施となりました。

生徒は家から風呂敷を持参し、校長先生の御指導で、熱心に包み方を習っていました。始めてみると、生徒だけでなく先生方も夢中になる程で、日本文化に浸る、一時を過ごすことができました。





11月8日の、前校長先生のご命日の記念行事として行われる秀文杯で、中学生はバスケットボールとフットサルの白熱した試合を見せられました。



文星ふおとギャラリー

十一月から一月までの学校行事の写真を一挙大公開！みんなの新しい一面を再発見です！！

11月16日に系列の文星芸術大学に行き1年生はろくろ体験を、2年生はフェルト作り体験をしました。



11月22日にはハイキングで太平山を登りました。



リステル猪苗代
スキー教室（1月10日～12日）





学校行事風景



高校(雄飛祭・体育大会)



中学校(スキー教室)